特集

明治150年 記念式典開催

1868 ▸ 2018

幕末という時代の大きな変革期の中で、鹿児島の先人たちは明治維新を成し遂げ、近代国家への扉を開きました。

元号が「明治」と改められてから150年目を迎えた今年、この明治維新の意義や近代化の歩みを見つめ直し、明治200年を背負うことになる子どもたちに先人たちの志を伝え、未来へ向けて新しい時代を切り拓こうと、5月25日、鹿児島市の県総合体育センター体育館(以下、県体育館)で明治150年記念式典を開催しました。

過去から現在、そして未来に向けて

子ども達が 先人たちの志をつなぐ

県体育館(鹿児島市)

小中高生代表による「県民決意のことば」

50年前を振り返って

1968年

明治100年 記念式典

今から50年前の昭和43年4月6日、今回と同じ県体育館で明治100年を記念した式典が行われました。皇太子同妃両殿下(現天皇皇后両陛下)をお迎えし、前夜祭や祝賀マスゲーム・パレードなども盛大に行われました。

鴨池球場で行われた前夜祭

式典会場となった県体育館

おごそかに行われた式典

鴨池陸上競技場で披露されたマスゲーム

祝賀マスゲームをご覧になる両陛下

問い合わせ先　県庁明治維新150周年推進室:099-286-3057

秋篠宮同妃両殿下をお迎えして

式典では秋篠宮同妃両殿下のご臨席を賜りました。殿下からは「先人たちの偉業を含めた薩摩の風土の特質を後世に伝えていくべく、気持ちも新たに本式典を開催されることは、これからの我が国を背負っていく人々にとって大きな励みになるものと考えます」と温かいお言葉をいただきました。

お見送りの保育園児に声をかけられる秋篠宮同妃両殿下

4

3

2

7

5

8

6

県体育館（鹿児島市）

1

5月25日（金）｜1日目

明治150年記念式典

式典は秋篠宮同妃両殿下ご臨席のもと行われ、在日英国大使や政府関係者をはじめ、島津斉彬や西郷隆盛などの近代日本の礎を築いた偉人たちの子孫を含む招待客約800人と、県内の小中高生約2300人が参加しました。

式典では先人たちの成し遂げた功績をたたえ、鹿児島の新たな時代を切り拓く決意を確認しました。

「県民決意のことば」では、式典に参加した子どもたちの代表から「先人たちの志を大切に生きていきたい」、「日本人としての誇りを持ち、新しい時代をつくっていきたい」など未来に向けた力強い決意が述べられました。また、「薩摩藩英国留学生」をテーマにした高校生による公開ディスカッションでは、それぞれが留学生への思いやその生きざまに触れながら、今後の飛躍を誓いました。

1.高校生創作オペラ
県立松陽高等学校音楽部の生徒による現代と幕末・明治維新期を融合した創作オペラ

2.プロローグ小学生合唱
池田学園池田小学校合唱部の児童による合唱

3.光の玉
先人たちから受け継いだ、幕末・明治維新の経験と強い想いが込められた「ミライへのヒカリ（光の玉）」による演出

4.中高生弦楽四重奏
MBCユースオーケストラ所属の中高生による演奏

5.県民決意のことば
小中高校生の男女6名による決意表明

6.知事あいさつ
「先人の志を引き継ぎ未来に向けて挑戦すべき」と訴えた三反園知事

7.公開ディスカッション
高校生6名による討論と決意表明

8.フィナーレ
式典を締めくくった中高生ユニット「TRUE'S（トゥルーズ）」のストリートダンス

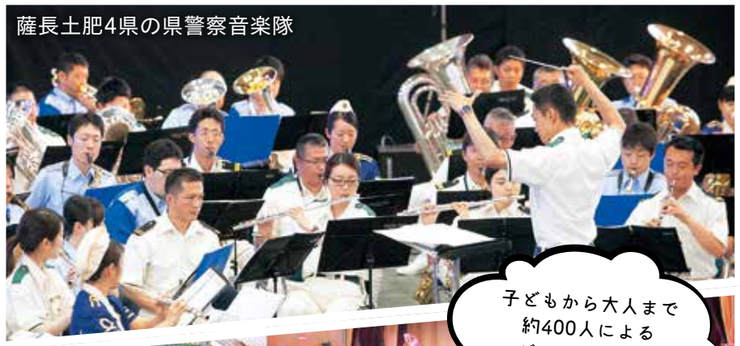
明治150年記念フェスティバル

5月26日（土）｜2日目

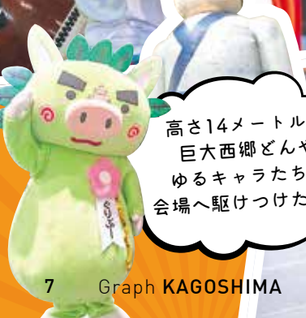
5月26日、式典の関連行事として県体育館で明治150年記念フェスティバルが開かれました。明治維新を牽引した薩長土肥4県の県警察音楽隊約120人による大迫力のオープニング演奏のほか、地元の子どもたちによる吹奏楽やジャズダンス、大河ドラマ「西郷どん」のテーマ曲を歌う里アンナさんによる島唄ライブや、同ドラマのオープニングに登場する霧島九面太鼓の演奏といった鹿児島ならではのプログラムの数々に、会場からは大きな歓声がわきました。

天候不良により会場やプログラムを変更して開催されたフェスティバルでしたが、延べ1万人もの皆さまにご来場いただき、大盛況で幕を閉じました。

霧島九面太鼓



薩長土肥4県の県警察音楽隊



高さ14メートルの巨大西郷どんやゆるキャラたちも会場へ駆けつけたよ！

山田和子ジャズダンススクール

子どもから大人まで約400人によるジャズダンスで会場を盛り上げました

里アンナさん 島唄ライブ

鴨池小学校吹奏楽部

先人たちの志を次世代へ

ここでは明治150周年記念事業の中から次世代への継承に向けた取り組みの一部をご紹介します。

未来を担う人材を育てる現代版・薩摩藩英国留学生
薩摩スチューデント派遣

英国へ渡った薩摩藩英国留学生は、その後日本の近代化に大きく貢献しました。そこで、明治維新から150周年を迎えた今年、未来の鹿児島を担うグローバル人材の育成を図ることを目的として、当時の留学生と近い年齢層の高校生を英国へ派遣することになりました。

今後の取り組み

日程
7月28日～8月6日

参加者
鹿児島県内の15名の高校生

薩摩藩英国留学生のゆかりの地を巡るほか、現地での交流・ホームステイなどを行います。8月中旬頃には帰国報告会を行う予定です。

事前研修として行われたＡＬＴによる英国理解講座（鹿児島県庁）

15名の高校生が派遣される

薩摩藩英国留学生とは？

鹿児島県立図書館 所蔵

1863年の薩英戦争でイギリスの軍事力や技術力を目の当たりにした薩摩藩は、翌年、海軍技術や語学を学ぶ開成所を設立し、さらに翌年にはその中から優秀な者を選抜して、英国に留学させました。当時、海外への渡航は禁止されていたため、使節も含めた19名の若者たちは名前を変えて、串木野郷羽島浦から英国商人グラバーの所有する蒸気船でひっそりと旅立ちました。2か月の航海を経てイギリスに到着した彼らはロンドン大学などで学び、帰国後は初代文部大臣となった森有礼をはじめ、それぞれが政治・経済・外交・文化などさまざまな分野で明治日本の近代化に重要な役割を果たしました。

問い合わせ先　県庁国際交流課：099-286-2303

郷土の偉人や文化、自然などを通して育む創造意欲
郷土かごしまの未来を担う青少年の育成

明治維新150周年を記念し、未来を担う青少年の郷土愛を育むとともに、これからの鹿児島、日本を創造していこうとする意欲を高めようと、昨年から青少年が鹿児島の自然や歴史、文化を体感する研修を行っています。

研修は日本を近代国家へと導いた郷土の偉人「西郷隆盛」の足跡をたどる形で実施され、今年度は、子どもたちが沖永良部島などを訪れる予定です。

今後の取り組み

沖永良部の西郷どんと敬天愛人

日程　8月2日～8月5日

鹿児島市内と沖永良部島で研修を行います。西郷隆盛が「敬天愛人」の思想を確立した地を巡りながら、沖永良部島の自然や伝統芸能を体験します。

昨年の取り組み　鹿児島市内と奄美大島での３泊４日の研修
西郷どんに学ぶ奄美の旅

島津斉彬や愛加那といった西郷隆盛の生き方に影響を与えた人物や時代背景を学んだほか、金作原原生林や奄美の海での自然体験などさまざまな活動を行いました。

小学5年生から大学生までの24人の参加者たち（尚古集成館）

希少な動植物のフィールドワーク（金作原原生林）

西郷の奄美大島での生活について学んだ（西郷南洲謫居跡）

今まであまり知らなかった西郷隆盛の生き方を学ぶことができた。奄美特有の生態系を実際に見て感じることができたのは貴重な体験だった。

参加者の感想

郷土のことを深く学ぶだけでなく、グループのみんなと協力すること、一緒に乗り越えることを経験できたのだなと感じました。思い切って参加させてよかったです。

保護者の声

問い合わせ先　県立青少年研修センター：099-294-2111

イベント情報

企画展「大河ドラマと黎明館資料Ⅱ」

開催中～8月26日（日）
歴史資料センター黎明館
☎099-222-5100

大河ドラマを切り口とした、黎明館収蔵品展を開催。

“薩摩の西へGO！”郷”日帰りツアー

平成30年8月4日（土）
JR伊集院駅南口集合
☎0996-32-5256（いちき串木野市総合観光案内所）

薩摩スチューデントや西郷隆盛など、薩摩西部の幕末ゆかりの地をバスで巡る。※定員20人・要事前申し込み

企画展「島津斉彬展-西郷隆盛が尊敬した賢君-」

開催中～7月26日（木）
尚古集成館
☎099-247-1511

「集成館」を築き、富国強兵を唱えた島津斉彬の業績や背景について紹介。

特別展「西郷南洲翁と菊次郎展」

開催中～平成31年2月3日（日）
龍郷町生涯学習センターりゅうがく館
☎0997-62-3110

西郷隆盛と息子菊次郎の親子の絆に迫る特別展。

大河ドラマ「西郷どん」番組企画展

開催中～平成30年12月末
和泊町西郷南洲記念館
☎0997-92-0999

大河ドラマ「西郷どん」とタイアップした番組企画展。番組紹介パネルや衣装などを展示。

かのや明治維新150周年記念講演会・市民シンポジウム

平成30年9月24日（月）
鹿屋市文化会館
☎0994-31-1138（鹿屋市役所）

霊山歴史館（京都）の木村幸比古副館長による講演会や、地元市民による意見発表などを開催。※定員400人